

## <帝国>と向きあうわたしの住まい

21世紀に入ったあたりから、都市部にはかつてなかった巨大なビル群が建ち並び始めます。郊外では、空き家だらけの住宅事情の中にあってもなお、住宅はあつという間の早さで建ちあがり大量に供給されていきます。その動きに並走するかのように、改正省エネ法（※1）や、種子法廃止（※2）など生活に密着した重要な法案も、さほど議論もされないまま次々に決められていきます。

それらは共同体からも、民主主義的論理からも、あるいは技術的進歩からも説明のつかないチカラで後押しされているようにみえます。そのチカラの源は現代の<帝国>（※3）のルールとも呼ぶべきものかもしれません。

では、建設現場はどうでしょう。住まいにとって重要な、浴室や台所といった水廻り、窓や建具といった部分は、それらがそもそもどういった役わりや意味を持っているかには無頓着なまま、数値的優位性や施工の簡便性のみを謳い、パッケージ化された形で供給されていきます。その一方で、それまで地域の住宅建設を担っていた小規模工務店は力を失い、頑固な職人は居場所がなくなりつつあります。そして、準備されたパッケージをこだわりなく使いこなす従順な職人が重宝されるようになりました。

私たちそれぞれの暮らしの中にあっても、落ち葉焚きのようなささやかながら融通無碍であった日常も姿を消しました。こうした個々の事象もまた<帝国>と無縁ではなさそうです。

どうやら<帝国>は私たちの日常の隅々まで入り込んでいるようです。と同時に私たち一人一人は既に<帝国>の住人でもあるのです。無理に抵抗しようとする、なんとも自家中毒に陥りそうな状況のなかで私たちは生きています。

<帝国>が民主的、平和的ルールのなかで存在するのであれば、その潮流に乗って口笛を吹いて生きて行くことは可能でしょうか？事態はそれほど楽観的ではないように思われます。<帝国>は、私たち個々を分断し階層序列化し協働を事前に阻止する仕組みを内包しています。

<帝国>で暮らしていく私たちにはどういった振る舞いが可能なのでしょうか？ここではその住まいについて共に考えてみたいと思います。

かたちに過剰な期待をして概念的な空間操作に終始する、あるいはアイデアを滑走させるだけでは、その潮流を突き抜けて、その先に新たな可能性は見出せそうにありません。

どこで、だれと、何を使って、何に思いを馳せながら、どんなタイムスパンで、何を実現するために、どういったアプローチで、といったかたちを成立させるための背景を再構築する中で、改めて住まうということ掘り下げていく必要があるのかもしれません。

文：佐々木 敏彦（審査員長）

★（※1～3）は応募要綱をご参照ください。応募要綱はホームページにてご確認ください。

### 募集要項

#### ●提出物

- ①プレゼンシート
  - 用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とする。
  - 着色など、表現上の制約はない。
  - 各自の提案内容に沿って自由に提案すること。
  - ※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はない。
  - また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もない。
  - ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚にまとめること。
  - ・パネルなど巻けないものは不可とする。また模型などは受付ない。
  - ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものは記入しないこと。
- ②プレゼンシートのデータ：PDF形式 + JPG形式（高解像度）
  - ・データはUSBメモリまたはCD-Rで提出のこと。
  - ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記すること。

#### ●応募資格

応募資格についての制限はない。

#### ●応募締切

2018年10月19日（金）当日消印有効

#### ●審査員（順不同・敬称略）

- 審査員長 佐々木 敏彦（大久手計画工房）
- ゲスト審査員 家成 俊勝（京都造形芸術大学/dot architects）
- 審査員 黒野 有一郎（建築クロノ）
- 駒井 貞治（名古屋芸術大学/駒井貞治の事務所）
- 布村 葉子（大建 met）
- 森本 雅史（森本建築事務所）

#### ●1次審査

日時：2018年10月27日（土）  
1次審査通過者には11月上旬に通知予定

#### ●2次公開審査・表彰式・記念講演会

日時：2018年12月8日（土）  
会場・その他詳細については、11月上旬にWebサイトにて公表予定

#### ●表彰

- ・金賞 1点 商品券10万円、賞状、記念品
- ・銀賞 2点 商品券 5万円、賞状、記念品
- ・銅賞 3点 商品券 3万円、賞状、記念品
- ・奨励賞 若干名（高校、高専含む）  
商品券 1万円、賞状、記念品
- ・ゲスト審査員特別賞 1点 商品券 3万円、賞状、記念品

